

気仙沼 階上

はしかみ 観光ガイドマップ

みちのく潮風トレイル

Michinoku Coastal Trail

「みちのく潮風トレイル」は、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐロングトレイルです。その最大の魅力は、海の景観をダイナミックに感じるスポットの豊富さ。自然が織りなす圧倒的な美しさのなか、潮風にゆれながら進み、忘れられない感動を味わってください。

ジオパークとは、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいいます。岩井崎を含む三陸ジオパークは平成25年9月に日本ジオパークとして認定されました。エリアは青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して気仙沼市までです。

岩井崎の先端部に立つ「龍の松」は津波によって幹や枝などに被害を受けたものの、残った姿が龍に見えることから「龍の松」と名付けられました。岩井崎から堂々と太平洋を見渡している「秀の山像」と「龍の松」は、気仙沼市の復興のシンボルとなっています。



養殖いかだや大島が一望できるコース。浜での生活の営みを感じることが出来るルートです。

気仙沼市階上地区出身の「第9代横綱 秀の山五郎」は、小力士(身長164cm、体重158kg)でしたが、努力の結果38歳で横綱まで上り詰めた。岩井崎にある「秀の山像」は大横綱の名にふさわしく、東日本大震災の大津波にも耐え、立ったままの姿で残っています。

秋(10月下旬から11月中旬頃)には龍の松にある空洞から夕日が差し込む光景が見られることがあります。その姿はまるで、龍の目が赤く光るようになります。

夕日撮影スポット

拝天岩

岩井崎から望む太平洋の水平線より昇る朝日は自然の雄大な姿を体感できます。潮吹きや秀の山とセットで撮影したり、冬は種に風が舞う幻想的な風景が見られます。

灯台

磯

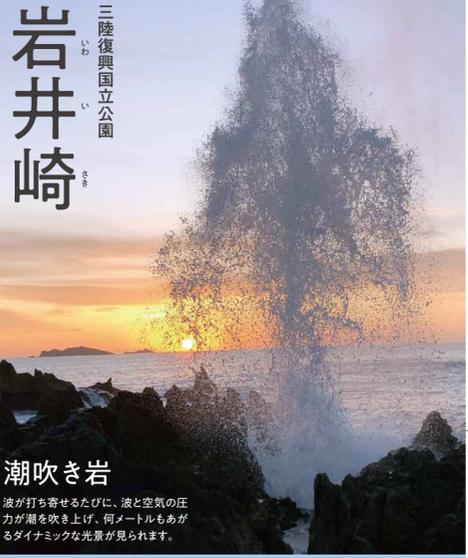
ベルム紀化石産地

約2億5千万年前(古生代ベルム紀)に海の浅瀬にすんでいたサゴゴやアンモナイト、ウミウミ、フズリなどの数十種類の化石の宝庫です。地質学上、貴重な場所として県の天然記念物にも指定されています。

昔、兄弟が大波で遭難してしまい、帰りを待つお爺さんとお婆さんが手を合せて祈る姿で岩となり「拝天岩」として残ったといわれています。

岩井崎塩づくり体験館は気軽に塩づくりを行うことができます。塩はつくる人、潮吹きや秀の山とセットで撮影したり、冬は種に風が舞う幻想的な風景が見られます。

夕日撮影スポット
お伊勢浜海水浴場から眺めるサンセットは絶景。ここが東北だということを忘れる美しさです。



岩井崎塩づくり体験館は気軽に塩づくりを行うことができます。塩はつくる人、潮吹きや秀の山とセットで撮影したり、冬は種に風が舞う幻想的な風景が見られます。

特産品

気仙沼茶豆

「気仙沼茶豆」は通常の枝豆にくらべて甘みが強く、甘みが強いことが特徴。普通の枝豆には一つの枝に3枚の葉がついていますが、気仙沼茶豆には5つの葉がついて地域特有の品種として長く栽培されています。
収穫時期:9月中旬~9月末まで 約2週間

気仙沼いちご

「気仙沼いちご」は甘みだけでなく、程よく酸味があって甘みと酸味のバランスがいいのが特徴。階上地区は、夏季が涼しく冬温暖、冬の日照時間が長く、太陽光をたっぷり浴びさせて育てることができる気候を生かし毎年たくさんのいちごを栽培出荷しています。
収穫時期:11月下旬~6月末まで

南三陸ねぎ

柔らかく甘みと香りが高いのが特徴。津波の塩害にも負けず育つ「南三陸ねぎ」。あらゆる困難を乗り越え立ち上る生産者の「あきらめない心」で育てられたねぎです。ねぎの圃場も津波により危険区域に区分され、農地として復旧した場所でねぎを生育しています。
収穫時期:10月中旬~1月末まで

わかめ

三陸海岸は親潮と黒潮がぶつかり合う「混合水域」で、栄養豊富なプランクトンが多く発生し、多くの魚が集まり世界三大漁場といわれています。その三陸海岸で養殖されるわかめも栄養を豊富に含み、肉厚でやわらかく、かつ弾力があり、心地よい歯ざわりがよいわかめが育ちます。
旬:1~4月

牡蠣

気仙沼階上の牡蠣は、1年で10月から12月の3ヶ月しか漁を行わないため、その希少性と品質から築地市場でも高値を維持する最高級ブランド牡蠣です。強い競争意識を持ち生産者同士が切磋琢磨しながら、一粒一粒愛情込めて育てています。
旬:10~12月

岩井崎の塩

岩井崎塩づくり体験館にある平釜で観光協会の有志が手塩にかけて作っています。ミネラルが豊富でふんわりめ細かくもろやかな味です。

菖蒲沢

岩井崎インターそばに見える大きなため池。1547年(天文16年)、村が農業用の池をつくり、菖蒲沢のため池となりました。以来このため池は階上地区を潤してきました。気仙沼では珍しい淡水の大きな池であり、市民の憩いの場として親しまれています。

白鳥

晩秋になると多くの白鳥が飛来してきて、菖蒲沢で冬を越し、春先になると北へと帰っていきます。間近で白鳥を見られるスポットです。

ゴルフ場からの眺め

気仙沼カントリークラブからは、階上地区と太平洋を一望できます。気仙沼湾から遠く 金華山まで見渡せる海洋の景観は素晴らしいです。

桜

気仙沼の隠れた桜の名所で静かに桜を見たい人におすすめ。きれいな水面に反射する桜は絶景です。

岩井崎IC

宮古方面からは岩井崎ICをご利用下さい。
岩井崎ICは宮古方面出入口のみのハーフICです。また中型・大型・特大型車流出不可となっています。

命を救ったケヤキ旭崎

旭崎と呼ばれる岬では8名がはしごを使ってケヤキの木に登り津波をやり過ごし一命をとりとめました。このケヤキの木は、明治三陸大津波の後、「樹木を命を救う」との考えから、植えられたものだそうです。

お伊勢浜 みんなの広場・駐車場

お伊勢浜海水浴場の再開に併せてトイレ・シャワールーム・更衣室・駐車場が整備されている広場です。

杉ノ下防波水門

東日本大震災では、杉ノ下地区の高台を津波が襲い避難した多くの方が犠牲になりました。襲った津波の高さは約18mと言われています。2012年3月、「杉ノ下連誼会」により、避難場所だった高台に建立された慰霊碑には、子どもから高齢者までの約93名の名前、「絆 あなたを忘れない」と題するメッセージ、震災の爪痕の記録、そして、次の教訓が刻まれています。

道の駅 大谷海岸

道の駅 大谷海岸 はまなすステーション

大谷海岸IC

仙台方面からは大谷海岸ICをご利用下さい。